

# モビリティ通信

No.35  
2月号

株式会社 mobility career  
https://mobility-career.jp/

日本でいちばん幸せを感じられる会社をつくる

本社 〒462-0825 愛知県名古屋市北区大曾根三丁目4-14 ボルト大曾根1階 ☎:052-325-3477 ☎:052-325-3478  
 関東営業所 〒371-0855 群馬県前橋市間屋町2丁目13-2 前橋グリーンマンション1階 ☎:027-226-1134 ☎:027-202-0311  
 北九州営業所 〒807-0825 福岡県北九州市八幡西区折尾4丁目16-16 田中ビル3階 ☎:093-981-1601 ☎:093-981-1602

同類親和。先般、私たちに対してあるご依頼をいただきました経営者様(仮に「A社長」といたします)と個別に打ち合わせをする機会をいただきました。その際に、A社長から「同類親和」ということはを教えてくださいました。同類親和とは「類は友をよぶ」という意味になると思われます。

A社長の会社は先代であるお父様の時代、バブルの過渡期月ということもあり株式投資関係で負債を抱えてしまわれ、社内が荒(寂)んでいたそうです。その後、次男でありながらも縁あって会社を継承され、20年近くのあいだ「こういう方向でいこう」と会社経営の理念や想いを顕(あらわ)にされた結果、次第にフィロソフィーの合わない方が辞めていかれ、お取引先も無理な拡大をされた素晴らしい会社様と未長く大切に付き合いをすることができているということでした。数年前に七くはられた先代様に文書して、A社長は「困難を与えてもらい、とても感謝している」と目を潤ませながらお話をしておられる姿勢に感動しました。

小生の拙い経馬を振り返ってみても、残念ながら悪い人にめぐりあったり、フィロソフィーの合わない人がいたりしたからこそ、どうするべきかを考えるような機会をいただきました。もちろん聖人ではないので、その瞬間刹那には残念ながら腹が立ってしまうこともあるのですが、「大切なことを教えてくれた。気づかせてくれた」と有り難く振り返ることが多々あります。

尊敬する森信三先生のお言葉に「自分はつねに迷い通しの身と知るとき、そのまま悟りに与(あず)かるより」「すべて手持ちのものを最善に生かすことが、人間的智慧の出發といえる」というものがあります。もちろん、すべての社業が川風満帆であることが望ましいわけなのですが、そうではないときこそ「私たちの在り方が問われている」ということを肝に銘じる機会をいただきました。



代表取締役会長  
CEO 兼 CFO  
加藤 滋樹



あつという間に2月です。この調子だと「あつという間に12月だね」と書かなくてはいけなくはなりそうだね。  
 1月中旬、インドネシアから入国する名の女生を空港で待っていていました。イセの国からも支援生、特定技能として入国した外国人の波が出口から止まることなくどんどんと流れていました。内定後から日本語指導で毎週オンラインで彥頁を合わせている3名をすかさず見つけて声をかけ、一緒に雪の降る高山方面へ向かいました。彼女たちの日本で頑張ろうという決意はとても固いもので、初日は不安な表情をみることがありましたが、目の奥には真っ直ぐな思いを感じ取ることができました。平均気温27度のインドネシアから、1月の平均気温3度の高山での生活は大変だと思います。しかし、初めて見る雪に感動し、何枚も写真を撮る姿やビデオ電話で家族に見せたりと、とても明るい人柄です。行政、銀行などの手続き、お仕事仲間への挨拶など、どんどんスケジュールをこなしていきませんが、早く日本の生活に慣れてい賞えたいと積極的です。そんな前向きな人材を、多くの企業様に紹介できるように頑張っていきます。  
 今月もインドネシア、カンボジア人 多くの素晴らしい若者と送り出し機関(現地の日本語学校)に会いに行きます!!



代表取締役社長  
COO 兼 CMO  
加藤 優



取締役  
海外人材事業部部長  
北九州営業所営業部長  
錦織 靖生



「仲直り」  
毎週の日本語勉強会の宿題で日記の中に海外人材と一緒に住んでいる相方とケンカをしたということが書かれていました。リアルをお伝えすると、夫婦もどうですが海外人材も同じです。一緒に長く住んでいれば「間違いなくケンカをすることはある。共同生活をすることで今までは違う環境になり自分中心に考えてはいます。だからケンカを避けることよりも、ケンカにも早く仲直りしようと思ってくれたり、素直に謝ってくれることを大事にした方が、いいと思いました。長引くケンカでストレスしかないので誰も得しない。小さなことでも「ごめんね」が言えず、何日も引きずって疲れてしまったりは早く仲直りした方が気持ちよく日本で生活もできます。今回、お互いの彥頁を拝見聞き、「自分も僕がたどるはなれたのか」を一緒に考え仲直りの場をつくることができました。二人が歩みよって仲直りできた瞬間は本当に感動する場面でした。そんな時間を一緒に過ごせることも、幸せを感じられる一つなんだと気づきました。

ハビに錦を飾る

大寒を過ぎ、来週からは寒波が予想されているそうです。仁が有り、そして、六藝に通じてゆとりのある人物が理想である「今だけ、金だけ、自分だけ」の反対ですが、もう少し私なりに解釈すると、「まずは正しい人の道というものを体得し、その上で人格を磨き、他人に対す

## 現代の論語と算盤

人づくりとマーケティングの時代

◇ ◇ 156

的な価値観について書きました。仁が有り、そして、六藝に通じてゆとりのある人物が理想である「今だけ、金だけ、自分だけ」の反対ですが、もう少し私なりに解釈すると、「まずは正しい人の道というものを体得し、その上で人格を磨き、他人に対す

「道に志し、徳に抛り、仁に依り、藝に遊ぶ」という論語の一節です。意味としては、「立派な人物というものは、まず人の道を志していなければ、人生の公式として「人

氏に、昨夏に逝去された稲盛和夫氏は、人生の公式として「人

## リーダーシップ

生・仕事の結果に考え方×熱意×能力」と言っています。ここで一番大切なのは、考え方です。熱意や能力は0点から100点まであるのに対し、考え方の方はマイナス100点からプラス100点まである術、書道、算術を指していることが理由です。間違っ

## 人の道、そして人間の幅が大切

考え方は熱意や能力が高いほどにマイナスに作用します。論語も稲盛氏の「道に志し、徳に抛り、仁に依り、藝に遊ぶ」ということとあり、「人の道」とは稲盛氏の言う考え方に当たる部分にあたります。次に、取り上げたいのは「藝に遊ぶ」です。人間として

「藝に遊ぶ」です。人間として

### 「印象力」という言葉をご存知ですか？

現在、モビリティ・キャリアの人づくり×マーケティング事業部では、介護施設さまへの「印象力アップトレーニング」をご提供しています。このトレーニングの要になっているのは、「接客」なのですが、そのおもてなしの心が、外からでも、誰から見ても、表現できていることを大切にしています。印象は、相手が感じて決めるものであり、自分が「こういう人間だ」と思っているよりも、その通りに見えないことがあるからです。よく「第一印象を良くする」と言われますが、第三者からの印象は相手が自分を認識した瞬間に決まっていると思います。これを「第ゼロ印象」と呼んでいるのですが、第ゼロ印象を良くするには日頃からの心がけが重要です。「相手が求める印象」を意識し、場に応じた身なりや、明るい表情、イキイキとした動きを日頃からクセにしておくことで、印象力がアップするのです。第一印象よりも前の、第ゼロ印象は、「次の展開があるかどうか」の分かれ道。コミュニケーションの扉を開ける「鍵」と言えます。「この人と話してみたい」と思ってもらえる人間であるように、私もいつも笑顔であることを意識して過ごしております。寒さが続いておりますが、身体だけでなく、心まで縮こまらない様、ハツラツと動きまわりたいです。



管理本部

チーフコーディネーター



岐阜県高山市で働く海外人財が入国しました。現場の方々からは「来てくれてありがとう」と歓迎を受けていました。この様子を直近で拝見することができ、「このような仕事をやってきて本当によかった」と有り難く思いました。



医療法人様において海外人財の入国前のガイダンスを行いました。受け入れるにあたっての前向きなご質問をたくさんいただいたことが印象的でした。「指導や教育には問題ない」と仰っていただきましたので、入国後の海外人財との関係性を良好に保つことができるよう、より一層気を引き締めてご支援を行って参ります。



ご縁をいただいております介護施設様の中期経営計画のお手伝いをする機会をいただいております。前提となる課題や将来の方向性を深めていくため、マインドマップとロジカルシンキングを組み合わせたワークショップを開催しました。真因を探求したのちに、今後の実行計画との整合性を突き詰めていくこととなります。この他にも製造業の企業様からも同様のご相談をいただいております。「何をやるか」という手段よりも、「何が課題であるのか」、そもそも「何を大切にするのか」という本質となる部分について一緒に汗をかいて探求していくことの大切さを学ぶ機会をいただきました。